

城南家保ニュース Vol.29-6

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス iounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



平成29年度熊本県口蹄疫防疫演習が開催されました

平成29年8月9日(水)、熊本県口蹄疫防疫演習が合志市のJA熊本教育センター(机上演習)と県農業公園(実地演習)において開催されました。**口蹄疫**の発生を想定した防疫作業の一連の流れについて、防疫作業者の現地拠点となる現場事務所の設営、実際の牛を用いた捕獲保定の実演、模型牛を用いた殺処分、県建設業協会の皆様の協力による埋却溝の掘削、消毒ポイントや農場近辺での通行規制など、実際に資材、機材及び重機を用いて作業することで、万一の場合に備え、関係者の防疫措置への理解を深める機会となりました。

私ども、城南家畜保健衛生所の職員も埋却班を中心に担当し、埋却溝へのブルーシート敷設、石灰散布消毒、畜体の投入から埋戻しなどを行いました。



口蹄疫を対象とした、このような大がかりな実地演習は約6年ぶりのこともあり、若手職員ではこのような演習を初めて経験するスタッフも多く、非常に有意義なものとなりました。

8月の開催で暑さもピークの時期だったため、防疫服を装着しての作業は体力的な負荷がなかなかのものでしたが、**いつ発生するかわからない悪性家畜伝染病ですので**日頃からの演習による準備は欠かせません。ですが、**発生させないことが一番大事**、日常業務のなかで生産者の皆様へお願いしている飼養衛生管理基準の遵守啓発を、これからもコツコツと積み重ねていきたいとあらためて感じました。

平成29年度鶏病研究会熊本県支部鶏病技術研修会

平成29年8月25日(金)、鶏病研究会熊本県支部主催・熊本県の共催により、標記研修会が熊本市の中央家畜保健衛生所において開催されました。

採卵鶏の呼吸器症状に関する症例1題、肉用鶏の真菌(カビ)症の事例2題、その他3題の計6題の話題提供がありました。当家保からは橋口技師が「キシに発生した毛細線虫によ

る化膿性壊死性そ嚢炎」と題し発表しました。土床飼育のキジに捻転毛細線虫に起因したそ嚢粘膜の傷害によるエサの通過障害・衰弱、病変部位からの細菌感染が重なった死亡個体発生との報告で、近代的な養鶏業では稀な症例ですが、土床で平飼いされる家きん類では起こりうる事例であり、注意が必要と思われました。



その他、特別講演としてマルイ農業協同組合生産事業部長の山内裕樹先生から、「鹿児島県出水地区における高病原性鳥インフルエンザ（HPA I）の防疫対策について」の講演がありました。

世界有数のツル越冬地で、国内有数の養鶏地帯でもある出水地区にHPA Iを発生させないよう、組合員がお互いに他の組合員の農場を巡回して全鶏舎をチェックし、農場敷地内にくまなく石灰を散布するなど、統一した意識とモチベーションを持って対策されているとのことでした。地域の観光振興と基幹産業である養鶏業との両立のため、「**万一発生しても悔いが無いよう**」懸命に取り組んでいるという言葉が大変印象に残りました。

第11回全国和牛能力共進会宮城大会が開かれます

来る9月7日から11日まで、5年に1回の全共が宮城県で開催されます。

県予選の選考会を経て選ばれた優れた牛たちが、熊本を代表して出品されます。家保も出品牛の衛生検査、証明書の発行及び出発前の臨床検査を担当しました。球磨地域からも**第6区の繁殖雌牛セット3頭**（高等登録群：母一娘一孫娘にわたる改良成果・優良雌牛系統の地域保留と拡大を目的）、**第8区の肥育牛1頭**（若雄後代検定牛群：次世代を担う高能力種雄牛の発掘・現場後代検定促進を目的）が選出されました。



県内での最終予選会審査風景



全共出品牛の出発式

県内でも屈指の和牛繁殖地帯である球磨地域から県の代表牛が選出されることは、全共の開催意義とされている「時代に応じた改良の積み重ね・関係者の一体となった改良目標への取り組みによる、地域和牛生産の発展」がしっかり根付いていることの証だと思えます。出品者並びに関係者の皆様におかれましては、熊本から宮城への移動も大変でしょうが、本大会での健闘を心より祈念しております。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

| 病名 | 発生地 | 発生日 | 畜種 | 型 |
|------------------|---------|-------------------------------------|--------|------|
| 口蹄疫 | モンゴル | 4月22日～8月10日 | 牛、山羊、羊 | O型 |
| アフリカ豚コレラ | 欧州・ロシア等 | 2007年以降～（継続発生） 6月10日～8月23日（直近発生） | 豚・いのしし | |
| 高病原性 鳥インフルエンザ | 台湾 | 7月24日、8月15日 | 家さん | H5N2 |
| | 中国 | 8月1日 | 家さん | H5N1 |
| | | 8月15日 | うずら | H5N6 |

平成29年9月1日時点

編集後記 (M.K)

将棋界では藤井聡太四段がめざましい活躍をしておりますが、その強さの秘訣は「終盤力」といわれています。最後の相手玉の詰みまでの手順を読み切って、抜け目がないよう何度もしっかり手順を繰り返し確認します。私も趣味程度で将棋を指すことがありますが、普段の仕事でも最後の詰めをしっかりとるよう上司からよく言われます。「終盤力」はもちろんですが「序盤・中盤・終盤スキが無い」のが一番です、畜産農家の皆様も、家畜伝染病が忍び込むスキがないよう、お互い気をつけてまいりましょう！